

## 福井県嶺北地方におけるチョウセンイタチの初記録

香川 正行\*・香川 智恵\*

### The first record of the Siberian Weasel in the Reihoku District of Fukui Prefecture, Japan

Masayuki KAGAWA\* and Chie KAGAWA\*

キーワード：チョウセンイタチ，福井県，外来種

チョウセンイタチ *Mustela sibirica coreana* のわが国の自然分布は対馬のみであり，1930年頃阪神地方の養殖場から逃げた個体がもたくなって関西地方で分布を広げ，さらに1945年頃，戦後の混乱期に朝鮮半島から船荷に紛れて北九州に侵入し，九州に分布を広げていったと考えられている(佐々木，1992)．侵入したチョウセンイタチは在来のニホンイタチ *M. itatsi* を駆逐しながら次第に分布域を広め，現在では中部地方以南，九州，四国および周辺の島に生息している(日本生態学会，2002)．なお，種名(和名，学名)は佐々木(1996)に従った．

福井県におけるチョウセンイタチの生息は，1975年11月敦賀市および1997年10月10日小浜市北川の2例が記録されている(福井県生活環境部自然保護課，1982；福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会，1998)．また，石川県では，生息確認種には含まれておらず(石川県環境安全部自然保護課，1999)，富山県でも，同様である(村井ほか，2003；2004；2005；2006)．このように，チョウセンイタチは福井県が日本海側の現在の東限となっている(福井県自然環境保全調査研究会，1999)．ただし，福井県の記録2例は，いずれも県西部の嶺南地方のものであり，県東部の嶺北地方では記録されていない．すなわち，従来の記録では，嶺北と嶺南とを分かつ山中峠-木ノ芽峠-栃の木峠を結ぶ山稜を越えていないことになる．今回，嶺北地方にてチョウセンイタチを確認したので報告する．

今回の確認は，2006年12月30日福井県福井市東下野地籍の狐川左岸河川敷(北緯 36° 03' 51" 東経 136° 10' 35") (図1)に残った積雪の上を，ゆっくりと走っている小型哺乳類1頭を発見し，写真(写真1，写真2)を撮影したものである．確認場所は，狐川と日野川の合流点から狐川左岸に沿って約200m上流の地点であり，左岸の幅30mほどの河川敷は，一部家庭菜園に使われているものの，草本類およびヤナギ類等の木本類からなる河川植生が分布している．撮影した写真

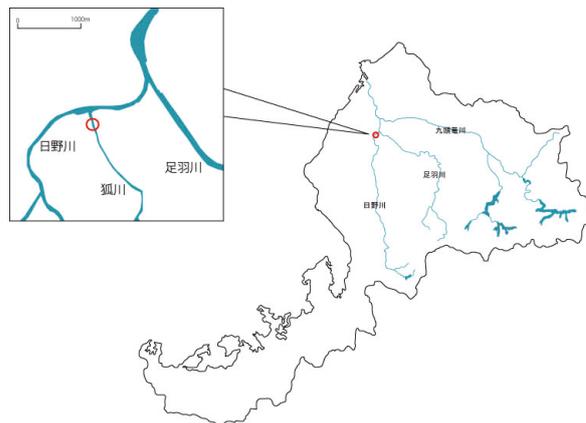


図1 確認地点 (○)



写真1 チョウセンイタチ



写真2 チョウセンイタチ

\* 〒918-8055 福井市若杉4丁目1807

\* 4-1807 Wakasugi, Fukui 918-8055, Japan

により、イタチ類であることは確認できたが、生息の可能性がある2種、ニホンイタチとチョウセンイタチの識別が困難であったことから、筑紫女学園大学短期大学部の佐々木 浩氏に鑑定を依頼した。両種を外見から判別するには、毛色と尾率（頭胴長に対する尾長の比率）が目安になるとされ、尾率は、ニホンイタチ36～50=42%（今泉，1960）に対しチョウセンイタチ50%以上（今泉，1960；阿部ほか，2005），ニホンイタチ40～45%に対しチョウセンイタチ50%前後（佐々木，1996）とされている。佐々木氏によると、ニホンイタチの目の横は灰色っぽくなり胴体の色と異なるのに対し、目の横の毛が胴体とほぼ同じ黄色であることを主な理由とし、尾率が毛色からの判定を支持していることから、写真はチョウセンイタチと同定された。以上から、捕獲等による実物での確認とは異なり、写真からの同定という不確実性を伴うものの、今回のチョウセンイタチの確認は、福井県東部の嶺北地方における初記録であり、本種の本州日本海側での北限の記録となる。

筑紫女学園大学短期大学部の佐々木 浩氏には本種の写真による同定をお願いいたしました。福井県自然保護センターの西垣正男氏には福井県における生息記録についてご教示いただきました。石川県立自然史資料館の佐野 修氏および富山県立図書館の城崎しおり氏にはそれぞれ石川県、富山県における生息状況および文献についてご教示いただきました。福井市自然史博物館の内藤由香子氏には本稿を作成するに際し貴重なご助言をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

### 引用文献

- 阿部 永・石井信夫・伊藤徹魯・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明，2005，日本の哺乳類〔改訂版〕。東海大学出版会，206p.
- 福井県生活環境部自然保護課，1982，福井県の鳥獣。福井県生活環境部自然保護課，240p.
- 福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会，1998，福井の鳥とけものたち。福井県県民生活部自然保護課，222p.
- 福井県自然環境保全調査研究会，1999，福井県のすぐれた自然 動物編。福井県県民生活部自然保護課，452p.
- 今泉吉典，1960，原色日本哺乳類図鑑。保育社，196p.

石川県環境安全部自然保護課，1999，新版石川の動物。石川県環境安全部自然保護課，108p.

村井仁志・白石俊明・間宮寿頼・南部久男・岡 圭一・西岡 満・神保美和子・森 大輔，2003，富山県における哺乳類の記録（2002年）。富山の生物，(42)，27-38.

村井仁志・西岡 満・白石俊明・神保美和子・森 大輔・南部久男・岡 圭一・間宮寿頼，2004，富山県における哺乳類の記録（2003年）。富山の生物，(43)，1-8.

村井仁志・間宮寿頼・南部久男・岡 圭一・西岡 満・白石俊明・見浦沙耶子・細川美和子・森 大輔，2005，富山県における哺乳類の記録（2004年）。富山の生物，(44)，63-72.

村井仁志・南部久男・森 大輔・内呂由美子・西岡 満・間宮寿頼・細川美和子・見浦沙耶子・岡 圭一・白石俊明，2006，富山県における哺乳類の記録（2005年）。富山の生物，(45)，29-32.

日本生態学会（編），2002，外来種ハンドブック。地人書館，390p.

佐々木 浩，1992，都市に生きられるかーチョウセンイタチ，ニホンイタチ。朝日新聞社，週間朝日百科，動物たちの地球 第8巻哺乳類I，312-313.

佐々木 浩，1996，ニホンイタチとチョウセンイタチ。平凡社，日本動物大百科 第1巻哺乳類I，128-131.

**The first record of the Siberian Weasel in the Reihoku District of Fukui Prefecture, Japan**  
Masayuki KAGAWA and Chie KAGAWA

### Abstract

One Siberian Weasel *Mustela sibirica coreana* was observed at the dry riverbed of the Kitsunegawa River (36°03'51"N 136°10'35"E) in Fukui City, Fukui Prefecture on 30th December, 2006. This is the first record of a field observation of the Siberian Weasel in the Reihoku District of Fukui Prefecture, Japan.

**Key words:** *Mustela sibirica coreana*, Fukui Prefecture, Alien species